

「住まいのおたすけ隊」感謝祭に出店させていただきました!



感謝をこめて

千鳥福祉会 理事長 山本 昌子

新年あけましておめでとうございます。後援会会員の皆様には、穏やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

後援会活動のサマーフェスタは地域の皆様にもご期待を頂く取り組みになって参りました。当初は法人の命運もありましたが、障がいがある方が東持田町に住んでいる事を知ってもらい、一夜でもいいからインクルーシブな瞬間が演出できないだろうかと思案しました。やがて、持田地区の名物にならないかなあ〜と。それを16回続けることができました。この継続には、皆さんの志に加え、日頃のお仕事や活動で鍛え上げてこられた技術・感性・巻き込み力等計り知れない価値と我々職員の手も引き出して下さる魅力があります。そして、「地域の祭りになってるよ」という声も届き、祭りに来て下さる2000人を超える方々も含めて関係者の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

以前「戦わない経営」という書籍で法人内研修をしたことがあります。「戦わなくていいけど1番になる事は大切。2番は誰も覚えていない」…成程…「皆さんのお力添えも、一緒に作り上げるサマーフェスタも、いずれも日本一」と呟いてみます。御賛同下さいますようお願いして、年頭のご挨拶といたします。

今年もどうかよろしく願いいたします。

昨年は、島根電気株式会社様よりお声掛けいただき「住まいのおたすけ隊・感謝祭」に参加出店させていただきました。大きなイベントへの出店で利用者さんの工賃アップにもつながりありがとうございました。



千鳥福祉会後援会会員のご紹介 (企業会員様46社)

アイカム株式会社	株式会社原商
(有)クリエイティブプロダクションアドス	株式会社はらぶん
有限会社天野板金工作所	平田生花店
伊藤忠エネクスホームライフ西日本(株)	有限会社富士見自工
株式会社神谷鉄筋	福岡商事株式会社
木佐設計	双葉タクシー株式会社
有限会社岸本建築	松江土建株式会社
岸本農園	松江包装資材有限会社
協同組合建築技術センター	株式会社松文オフテック
サンラポーむらくも	松本金物建材店
島根電気株式会社	有限会社松本商店
新和設備工業株式会社	三浦工業株式会社 松江営業所
住商アイナックス株式会社 中国支店	株式会社ミック
有限会社大京自動車	安島工業株式会社
有限会社高浜印刷	株式会社ユニコン
田村電器有限会社	株式会社吉谷
永瀬石油株式会社	和光工業株式会社
有限会社中村茶舗	和幸電通株式会社
日清医療食品株式会社	和幸冷温株式会社
株式会社パタカラ(本社)	ワタキューセイモア(株)米子営業所

千鳥福祉会職員 101名

青木繁
青山まゆみ
安部章夫
安部賢治
石川輝海
伊藤立身
柏井利江
大西秀治
加納守
河原利行
佐藤幹也
清水匡
清水政博
瀬島清
多久和宏朋
坪倉博志
西川三佐子
西村寿子
林 悟
舟木章貴
星野富則
松浦孝夫
山本真一
吉岡彰
個人会員様 44名

Support News

後援会

便利

2018.1/1. NO.33
 社会福祉法人千鳥福祉会
 〒690-0814 松江市東持田町1415
 TEL0852-24-8820 FAX0852-24-8825
 URL http://www.tidori.org/
 E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

平成30年の 念頭に当たって



千鳥福祉会後援会
 会長 川上 裕治
 (松江土建株式会社 代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年12月より行われたジャイアントパンダ「香香(シャンシャン)」の一般公開には、老若男女を問わず多くの人々が観覧を希望し、当選者は長蛇の列をなしてパンダ親子を観覧するという、平和な日本を象徴する光景が上野動物園で毎日繰り返されています。

また、本年の楽しみといえば、2月9日より韓国で開催される冬季オリンピック平昌大会ではないでしょうか。昨年来、女子のスピードスケートやジャンプ、カーリング、そして男女のフィギュアスケートなど、日本代表候補選手の好調ぶりが伝えられていることから、日本選手団の活躍を大いに期待しているところであります。

そうした中で、一大イベントでありますサマーフェスタは、昨年、新たな企画やイベントの導入によって大いに盛り上がり、あっという間に時間が過ぎたという感がありましたが、各種イベントを通して地域の皆様と温かな交流ができ、親睦を深めることができたと感じています。今年も、昨年以上に盛大なサマーフェスタとなるよう周到な計画を立て、障がいのある方が自身を取り巻く人々と共生し、かつ、分け隔てのない生活を体験する場を提供したいと考えています。

本年が、会員の皆様にとりましてより良き年となりますようにご祈念申し上げますとともに、今後も千鳥福祉会の活動を積極的に支える所存ですので、会員の皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。年頭の挨拶と致します。

縁に感謝



それぞれが目的を理解、共有する事が源。



“新しい年を迎えて”

千鳥福祉会後援会
相談役理事
稲塚 公郎



明けましておめでとうございます。皆様お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私は昨年末に何とか満80歳を迎え、後期高齢者の仲間入りをさせて頂いていることに感謝をしています。節目に当たり特別の感情はありませんが、長く生きて来たという思いと、小学生だった昭和20年の終戦の時、皆が飢え苦しんだあの当時を思い出し、今日の繁栄と比較して隔世の感がひとしおです。この間の社会の変化の大きさと速度は驚異的です。ではこれからどんな未来が待っているのでしょうか。

一つにはAI(人工知能)の更なる高度化と活用が進むと思います。AIが出現したとき人間の頭脳が機械に負ける筈はないと皆が信じていました。しかし最近のAIは自ら習得する事を学び加速的に成長を続けています。

二つには厳しい脱炭素化社会の到来です。二酸化炭素の増加による温暖化現象は世界各地に広がり、災害は大型化して多くの人命が失われています。人類は果たして地球上のCO2をコントロールする事が可能でしょうか。厳しい制約の中で、人間の知恵と大自然の闘いはこれからも長く続く事でしょう。これらの問題が将来にわたり人類に大きな影響を及ぼし続けることは確実です。

どんな世の中になるのか想像出来ませんが長生きして見てみたいものです。私はこれからも趣味を楽しみ社会と繋がりをながら、肉体は老化しても心は若々しく持ち続けて今年を過ごしたいと考えています。

“新年のごあいさつ”

千鳥福祉会後援会
副会長 伊藤 立身
(和幸株式会社 監査役)



千鳥福祉会並びに後援会の皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられ、皆様とともに健やかで幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

節目を契機にウォーキングをライフスタイルの一つとして早6年が過ぎました。お陰様で今も日々、勤めの傍ら天気と時間と相談しながら無理をせず続けています。このような生活を送る内に、いよいよ今年の8月には定年という大きな節目を迎えます。そしてその後の生活設計については、自由に使える時間を与えて頂いたとプラス志向に捉え、次のライフスタイルをじっくりと検討して行きたいと考えています。

千鳥福祉会サマーフェスタは、初回から15回までイベントの専門家(後援会の会員)の強力な支援と沢山の方々のご協力もあり、地域に根ざした夏の行事として立派に育ちました。迎えた16回は、法人職員様による初めてのプロデュースとなり、サマーフェスタに携わって頂いた方々と一つになっての開催は誠に素晴らしいものに仕上がったと思います。今回のプロデュースの実績は、親元を離れ立ち立した子のように、千鳥福祉会様にとっても将来に向けての大きな節目に成ったと思います。そして、このサマーフェスタが、多くの方々に愛され親しんで頂けるイベントとして未永く開催される事を切に願っております。

“新年にあたって”

千鳥福祉会後援会
副会長 長嶺 幸恵



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願致します。

昨年の漢字は「北」ということであって、北朝鮮によるミサイル発射や、核実験に脅かされたかと思えば、北九州の集中豪雨による大被害など、このごろの自然現象は予想もつきません。地球全体、何が起るかも心配です。

今年の正月の天気のように、穏やかな心休まる一年であってほしいものです。

ところで、「ヤバイよヤバイよ」の決まり文句で有名な出川哲郎さんの話が新聞に載っていました。体当たりで笑いを届ける出川さんは今やバラエティ番組には欠かせない存在ですが、かつては「嫌われタレント」として見られていた時期もありました。それが最近では「子どもが尊敬する人物」に名前が挙がるまでになっているそうです。

その彼を支えたモットーが「一生懸命に頑張っていれば、誰かが見てくれる。」そして、その言葉どおり、どんな大変な仕事でも真正面から取り組んだそうです。

人知れず奮闘する人を、これほど鼓舞する確信はないし、そこには周囲の世界への信頼があり、未来への希望を失わないたくましさがあるとのこと。

昨年のサマーフェスタも大成功に終わりましたが、まさに皆さんの一生懸命頑張る姿が地域の方々や世間に認められた結果だと思えます。

今年のサマーフェスタも、どこかで必ず誰かが見てくれると、各々ベストを尽くし頑張りましょう!

“マリンベルの窓辺から”

千鳥福祉会後援会
監事 青山 まゆみ



新年を迎え元旦からよい天気に恵まれ、平成30年がスタートしました。

昨年は私にとって第二の人生のスタートの年となりました。

ここ3年程の間に全く予測も想像もしていなかった経験をし、必然なのか偶然なのか思いがけない出会いがあり、4月にカフェをオープンしました。店の名前は「マリンベル」と言います。内装やメニュー、BGMなど経験のない私にとってはそのセンスを問われるところですが、自分の直感力を信じ店づくりをしています。

お陰様で今までの人間関係を更に大切に、そして新しい出会いがあり、又、人と人を繋ぐ場所に少しずつなれているかなと思っています。

最後にいつも暖かく見守り、応援して下さい下さる方々に心から感謝し、今年一年も明るく元気で頑張りたいと思っています。

鹿島の佐陀川沿いに水色の壁の建物を見かけられたら、是非お立ち寄り下さい。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

“原点に”

千鳥福祉会後援会
副会長 竹内 房雄
(島根電工㈱) 専務取締役
松江営業所所長)



新年明けましておめでとうございます。昨年も様々な面で大変お世話になりました。ありがとうございました。心から感謝申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、日本人が世界に誇ってきた誠実や、勤勉に裏付けられた質の高さを売り物にしてきた性能保証が、有名な大手企業の生産工場です。十数年前から組織的に不正に手を染めていたことがマスメディアによって世界中に白日の下にさらされました。また、新幹線の点検整備作業の不備であわや大惨事になる恐れもあった事もありました。

これらは全て、技術がいかに進歩しても最後は人間の手にゆだねられていることだと思います。コスト追求と技術革新を追い求め、そこに携わる人々の技能追求や、技術継承を怠った。つまり人材育成が希薄だったことが招いた結果であろうと思います。

ローカルな企業に勤め、ローカルで暮らす我々でも、技術技能継承や、地域の伝統的な文化継承であっても、人材育成をおろそかにすればたちまち衰退の道をたどることを知っておくべきだと思います。

今年度17回目のサマーフェスタが心一つに成功に導かれるよう祈念し、千鳥福祉会の皆様も素晴らしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

“戌年”

千鳥福祉会後援会
理事 新田 喜一
(新和設備工業株式会社
常務取締役)



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、おだやかに新年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。

2018年の干支は戌戌(つちえのいぬ)で「古いものを終らせ、新しいものを育てる」「一旦燃え尽きた中から生命力豊かに芽吹いた新たな草木が成長する」といった意味があるそうです。時代は常に変化しそのスピードも益々加速しているようで我々企業もそれに対応するのに敏感でなければならぬ日々感じております。

「働き方改革」もそのひとつで、弊社も重要な課題として取り組んでおります。今までの古い考えを捨てて新しいのは大変勇気がいる事だと思います。しかし観点を換え、古くからの仕組み、今あるものの先をしっかりと見据えた上で進化させていこうと考えれば、企業の伝統や築き上げてきたものを十分生かせるはずだと思います。新たな発想やアイデアで働く人々、職場に活気がでる2018年の戌年になるように、今年の新たな目標が成果として形に現れるよう一生懸命頑張ります。

勉強不足の私です。後援会を通じて会員の皆様と交流を深めるとともにご鞭撻をよろしくお願いいたします。

本年も皆様にご多幸ありますよう心からお祈り申し上げます。

“新年のご挨拶”

千鳥福祉会後援会
理事 安島 壮
(安島工業株式会社
代表取締役)



新年明けましておめでとうございます。旧年中は皆さま方には何かとお世話になり有り難うございました。

振り返ってみますと、昨年は「付度」「一線は超えていない」「オフホワイト」とかたくさんのフレーズが流行りました。でも、何と言っても「北朝鮮」に振り回された1年でありました。あの太い父ちゃん坊やのような北の青年(?)を誰かやっつけてくれないかなと思うのは私だけではないと思います。水戸の黄門様ならば「助さん・格さん懲らしめてやりなさい」ときつと云ってくれるはずだと思っっているのは私だけでしょうか?

本年も振り回されそうですが、何事も自分自身の気持ちの持ち方が重要だと思います。人は、廻りに危険が潜んでいると思えばその分だけ準備をします。そんな「危機感」を良い意味で持ちながら、目的地まで進んで行くんだと強い思いを忘れない1年にしたいと思います。

